令和6年7月1日 荒川区立峡田小学校 校 長 松本 典之 栄養教諭 馬場 みき

1学期も残すところわずかとなりました。例年よりも遅い梅雨入りで、簡は降らずともじめじめと 湿気の多い白が続いています。こういった気候は、食中毒が起きやすい季節でもあります。食中毒 予防の 3原則を知っていますか?「つけない、増やさない、やっつける」です。



後片付けをきちんとしよう

養事を作ってくれた分に「ありがとう。おいしかったよ」の気持ちを伝えるためには、言葉でも伝えることができます。しかし、それだけではなく、きれいに養器を遊して、きちんと養性付けをすることでも伝えることができます。子どもたちは、なかなか調理賞さんとお話することができません。きれいに養性付けをして、懲謝の気持ちを伝えましょう。

生活習慣をととのえて夏ばてを防ごう

いりが続くと、食欲がない、だるい、よく眠れないなどの「夏ばて」が起こりやすくなります。

夏ばてを防ぐためには、栄養バランスのよい食事を毎日3食しつかりと食べる、こまめに水分補給をする、早起き早寝をすることが大切です。夜ふかしや朝寝坊をしたり、続いたりしないで、休みの日も学校のある日と同じように、規則正しい生活を心がけて、夏を元気に過ごしましょう。



©少年写真新聞社2024

意識 ニュース しょうしょう ひょうしょう ウェース・人

食欲がわかない時は?



食欲がわかない詩は、料理の味つけなどに食欲が増す食品(レモンや梅干しなどの酸みの強いものや、カレー粉などの辛みのあるものなど)を活用しましょう。

3年生 とうもろこしの皮むきを体験しました ~とうもろこしのひみつをめくろう~

真剣な表情でむいています。

おいしくゆでてください!



おいしい~!!と、声が上がっていました。

ともろこしについて学び、観察、皮むきを実施しました。朝どれのおいしいとうもろこし、全校でいただきました。とうもろこしが苦手な児童も、チャレンジしていました。

|年生 牛乳について学びました ~ほねほねパワーをゲットしよう~

牛乳に入っているカルシウム量をみんなで調べました。

牛乳 | 本227mg



骨が、カルシウムやタンパク質でできていることを知り、1 日に必要なカルシウムの量、給食でとることのできるカルシウムの量、牛乳に含まれるカルシウムの量を知りました。その後、給食の牛乳で飲む目標量を設定し、毎日 挑戦しています。個人のペースで、無理のないように頑張っていました。